

こんな活動です

支援者をうまくコーディネートして学校のニーズに応じた地域学校協働活動を実施しています。

京都府城陽市

活動名

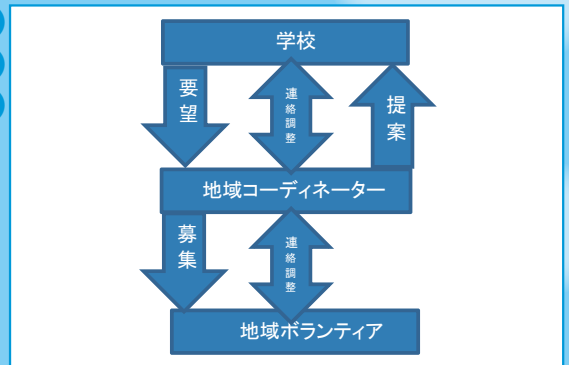
西城陽中学校学校支援地域本部

関係する学校名

西城陽中学校 寺田西小学校 今池小学校

| | | | | | | | | | |
|-------------|----------|-------------------|-------------------|------------------|------------------|--------------|-----------|------------|-----------------|
| 基本データ | 学校支援活動 | 統括コーディネーター数 0人 | 地域コーディネーター数 2人 | ボランティア登録数 38人 | 学習支援 有 | 開始年度 22年度 | 国庫補助 有 | ICT活用 有 | 企業・NPOとの連携 無 |
| | 地域未来塾 | 統括コーディネーター数 0人 | 地域コーディネーター数 1人 | ボランティア登録数 3人 | 子供の平均参加人数 10人 | 開始年度 27年度 | 国庫補助 有 | ICT活用 有 | 企業・NPOとの連携 無 |
| | 放課後子供教室 | 統括コーディネーター数 | 地域コーディネーター数 | 子供の平均参加人数 | 年間開催日数 | 開始年度 | 国庫補助 | ICT活用 | 企業・NPOとの連携 |
| | | 実施場所 | | 学習支援 | | 放課後児童クラブとの連携 | | | |
| | 土曜日の教育活動 | 統括コーディネーター数 | 地域コーディネーター数 | 子供の平均参加人数 | 学習支援 | 開始年度 | 国庫補助 | ICT活用 | 企業・NPOとの連携 |
| コミュニティ・スクール | 指定日 | | | | | 委員数 | 児童生徒数 | 学級数 | |

体制図



活動の概要・経緯

地域の力をうまく活用し、学校のニーズに応じた学校支援を推進することを通し、学習環境をしっかり整え、子供たちの豊かな学びや健やかな成長に寄与することを目的に平成22年に西城陽中学校学校支援地域本部を発足し、地域の力を学校支援に活かすシステムを構築。

学校・家庭・地域社会を巻き込んだ『社会総がかりではぐくむ教育』という視点での取組の必要性に着目し、地域が支援できる体制作り、地域と学校とのネットワーク作りを目指して各活動を展開し、地域から支援を受ける。地域コーディネーター2名（学校支援地域本部事業）と地元住民38名の登録ボランティアで構成され、活動内容によって大きく3つの支援（学習支援、図書支援、環境支援）に分けて事業を展開。また、地域の小学校にも支援の輪を広げ、学校・地域・家庭の連携・協働による教育活動を推進。地域コーディネーターが学校と地域との架け橋となり、相互の情報の共有を図りながら学校のニーズに応じた支援を展開。必要に応じて会議を持ち、各取組相互の連携・協働を進める中で、学校の活性化が図れるようお互いに協力。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

図書支援→図書室の本の整理、修理、ディスプレイ等、隔週の木・金曜日に2時間程度活動。登録ボランティア数は20人程度。

環境支援→校内の花壇づくり等、毎週火曜日に1・2時間程度活動。登録ボランティアは15人程度。6月と11月にあるPTAが行う「花いっぱい運動」と連携・協働しながら活動。

学習支援→1年生の放課後補習（英語）における学習支援を主に水曜日1時間程度実施。登録ボランティアは3人程度。今年度から、地域未来塾においてICTを活用し学習支援を充実させる予定である。

【実施に当たっての工夫】

図書支援→図書室の司書と連携・協働しながらの取組。小学校では児童と一緒に作業。

環境支援→PTA 等他団体と協力しながらの取組。

学習支援→学校の先生と連携・協働しながら学校のニーズにあった支援を実施。

支援の広がり→地域の小学校にも支援の輪を広げて、西城陽中学校区としての学校支援を実施。

● 事業を実施しての効果・成果

地域住民の方が日常的に中学校に入ってくることにより、地域に開かれた学校作りに寄与。また、多くの地域住民に学校に関心を持ってもらい、学校・地域が一体となって、より良い教育環境を作り、学校の活性化を図る。

地域からの支援により本校の学校経営方針である、心を育てる 知恵を磨く 自らを生かすの構築に大きな成果。

● その他

今年度から、ICTを活用し地域未来塾事業として学習支援を充実させる予定である。



学習支援・環境支援



図書支援・環境支援